

神奈川県立近代美術館 葉山

2011 年度展覧会スケジュール変更

このたびの東日本大震災により被災された皆様、及び福島原子力発電所の事故の影響を受けている方々に、心よりお見舞い申し上げます。震災と原発事故の影響で、葉山館の展覧会スケジュールを下記の通り変更いたします。今後さらに変更が生じた場合には、ホームページ等で速やかにお知らせします。

■開館 60 周年 現代美術の展開 ザ・ベスト・コレクション

変更前：2012年2月11日（土・祝）～3月25日（日）

変更後：2011年7月23日（土）～10月2日（日）

斎藤義重、村井正誠、吉原治良、川端実らの戦後に制作された作品から、高松次郎、中西夏之、若林奮、そして近年当館で展覧会を開催した松本陽子、早川重章、西雅秋、さらに現在その活躍が注目されている石川順恵、伊藤存などの中堅、若手の作家に至るまで、当館所蔵のコレクションの中から1950年代以降に制作された現代美術を展覧します。現代の絵画や彫刻の多彩な様相と共鳴を感じ取っていただける展覧会です。



石川順恵《春分 2007-3》2007年

■川合玉堂展 描かれた日本の原風景

変更なし：2011年10月22日（土）～11月23日（日）

明治6年に愛知県に生まれ、岐阜で育った川合玉堂（1873-1957）は、円山四条派と狩野派を融合し、日本画壇において新たな境地を開拓しました。若い頃から線や墨の表現を重視し、四季の自然を描いた郷愁あふれる風景画で名を高め、その後も、自ら眼にする田園や山岳の風景に深い愛着を寄せ、詩情豊かな、われわれの誰もが思い描く、懐かしい風景を描き出していきました。本展は、現在ではその多くが失われ、また人々の心から忘れられていった「日本の原風景」を、玉堂がどうとらえ、どのように表現していったのかを再確認します。



川合玉堂《夏川》1953年 個人蔵

■ベン・シャーン 写真・デザイン・絵画—多面的な創作の全貌

変更なし：2011年12月3日（土）～2012年1月29日（日）

ニューヨークを舞台に活躍したアメリカの画家ベン・シャーン（1898-1969）の久しぶりの回顧展。本展では特に、ハーバード大学付属フォッグ美術館の協力を得て約100点の作家撮影の写真作品を紹介するほか、国内外の美術館から集めたテンペラ、水彩、ドローイング、ポスター、版画など総計200点余りを展示。その多様なメディアを駆使した展開に注目します。また、日本の美術・デザインに大きな影響を及ぼしたベン・シャーン的重要性について再考します。



ベン・シャーン《砂あらし》1935年

©Estate of Ben Shahn/VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 2011

■お問い合わせ先 神奈川県立近代美術館 葉山
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1
tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968

■美術館についての最新情報は、
ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>
モバイルサイトはこちら →

